

授業科目 成人発声発語障害学演習

【担当教員名】 西尾 正輝		対象学年	3	対象学科	言語
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 ディサースリア（Dysarthria、運動障害性構音障害）の治療・訓練技法について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 症状、タイプ等に応じて、ディサースリアの言語治療を適切に実施できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	治療概論				講義 西尾
2	治療概論				講義 西尾
3	呼吸機能へのアプローチ				演習 西尾
4	呼吸機能へのアプローチ				演習 西尾
5	発声機能へのアプローチ				演習 西尾
6	発声機能へのアプローチ				演習 西尾
7	鼻咽腔閉鎖機能へのアプローチ				演習 西尾
8	鼻咽腔閉鎖機能へのアプローチ				演習 西尾
9	口腔構音機能へのアプローチ				演習 西尾
10	口腔構音機能へのアプローチ				演習 西尾
11	AAC・アプローチ				演習 西尾
12	AAC・アプローチ				演習 西尾
13	タイプごとの治療手技				演習 西尾
14	タイプごとの治療手技				演習 西尾
15	まとめ				講義 西尾
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ディサースリア臨床標準テキスト（成人発声発語障害学1と同一の書。2年次に購入済み）	西尾正輝	医歯薬出版	2007・4,200円
		スピーチ・リハビリテーション 第2巻	西尾正輝	インテルナ出版	2000・4,700円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験により成績を判定する。小テストあるいはレポート課題を実施した場合、評価内容として重視する。さらに授業態度、出席日数等も評価にさいして勘案しうる。			【履修上の留意点】		